

# 2021年度中間期決算の概要

2021年11月12日

みずほフィナンシャルグループ

MIZUHO

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

## 組織の略称

FG：みずほフィナンシャルグループ  
 BK：みずほ銀行  
 TB：みずほ信託銀行  
 SC：みずほ証券  
 AM-One：アセットマネジメントOne

RBC：リテール・事業法人カンパニー  
 CIC：大企業・金融・公共法人カンパニー  
 GCC：グローバルコーポレートカンパニー  
 GMC：グローバルマーケットカンパニー  
 AMC：アセットマネジメントカンパニー

## 為替レート

➤ 管理会計（計画レート）

	計画レート
USD/JPY	108.00
EUR/JPY	126.36

➤ 財務会計（期末TTM）

	20/9末	21/3末	21/9末
USD/JPY	105.81	110.72	111.95
EUR/JPY	124.16	129.76	129.90

## 計数の定義

連結業務純益：連結粗利益－経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整

ETF関係損益等：ETF関係損益（2行合算）+営業有価証券等損益（SC連結）

顧客部門：RBC、CIC、GCC、AMCの合計

市場部門：GMC

経費（除く臨時処理分等）：経費（除く臨時処理分）－のれん等償却

親会社株主純利益：親会社株主に帰属する中間純利益

グループ合算：BK、TB、SC、及び主要子会社等の合算（管理会計）

2行合算：BK単体+TB単体（財務会計）

普通株式等Tier1比率（その他有価証券評価差額金を除く）

：ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む

[分子] その他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益を控除

[分母] その他有価証券評価差額金（株式）見合いのリスク・アセットを控除

バーゼルⅢ・新規制・完全適用ベース

：バーゼルⅢ最終化による影響を考慮した試算値。資本フロアについては、標準的手法によるリスク・アセットから引当金見合いを控除して算出

# 決算の概要

(億円)	21年度 中間期	前年同期比
連結粗利益 + ETF関係損益等 <sup>*1</sup>	11,306	+373
経費( 除く臨時処理分等 )	△6,809	△15
<b>連結業務純益 + ETF関係損益等<sup>*1</sup></b>	<b>4,603</b>	<b>+409</b>
うち顧客部門	3,131	+739 <sup>*2</sup>
うち市場部門	1,458	△415 <sup>*2</sup>
( 連結業務純益 )	( 4,385 )	( +1 )
与信関係費用	△496	+315
株式等関係損益 - ETF関係損益等 <sup>*1</sup>	△68	+436
経常利益	3,993	+1,317
特別損益	472 <sup>*3</sup>	△184
<b>親会社株主純利益</b>	<b>3,856</b>	<b>+1,701</b>

- **連結業務純益 + ETF関係損益等：**  
顧客部門が堅調に推移し前年同期比で増益  
年度計画 7,900億円に対し、58%と順調に進捗
- **与信関係費用：**  
フォワード・ルッキングに追加引当も実施し、  
年度計画△1,000億円に対し、49%の水準
- **株式等関係損益 - ETF関係損益等：**  
政策保有株式の売却益に加え、ベアファンド解約損も計上
- **親会社株主純利益：**  
税効果による特殊要因<sup>\*4</sup>もあり前年同期比で大幅な増益  
年度計画5,100億円に対し、75%の進捗率

## 主要グループ会社の中間純利益

(億円)	21年度 中間期	前年同期比
みずほ銀行(連結) <sup>*5</sup>	2,287	+651
みずほ信託銀行(連結)	207	+34
みずほ証券(連結)	357	+55
アセットマネジメントOne	87	+15

\*1: ETF関係損益等217億円(前年同期比+408億円) \*2: 前年同期の計数を21年度管理会計ルールに組み替えて算出 \*3: 退職給付信託返還益510億円(前年同期比+431億円)

\*4: 子会社の資本政策の見直しにより第1四半期に実施したSCの資本適正化に伴う税効果影響等(+660億円)。なお通期決算における同影響額は減少する見込

\*5: 米国みずほ証券の中間純利益151億円(前年同期比△124億円)を含む

# カンパニー別業績

(億円)	グループ合算、管理会計							
	業務粗利益 <sup>*1</sup>		経費 (除く臨時処理分等)		業務純益 <sup>*1</sup>		中間純利益 <sup>*1</sup>	
	21年度 中間期	前年同期比 <sup>*2</sup>	21年度 中間期	前年同期比 <sup>*2</sup>	21年度 中間期	前年同期比 <sup>*2</sup>	21年度 中間期	前年同期比 <sup>*2</sup>
リテール・事業法人	3,459	+317	△3,113	+22	390	+359	366	+432
大企業・金融・公共法人	2,302	+36	△992	+48	1,331	+82	1,149	+628
グローバルコーポレート	2,500	+240	△1,262	△10	1,309	+245	937	+389
グローバルマーケット	2,537	△393	△1,075	△22	1,458	△415	969	△253
アセットマネジメント	290	+52	△162	△5	100	+53	46	+23
カンパニー合計	11,087	+251	△6,605	+33	4,589	+323	3,468	+1,220
FG連結	11,306	+373	△6,809	△15	4,603	+409	3,856	+1,701

\*1: グローバルマーケットには2行合算のETF関係損益を含む、FG連結には2行合算のETF関係損益、SC連結の営業有価証券等損益を含む

\*2: 前年同期の計数を21年度管理会計ルールに組み替えて算出

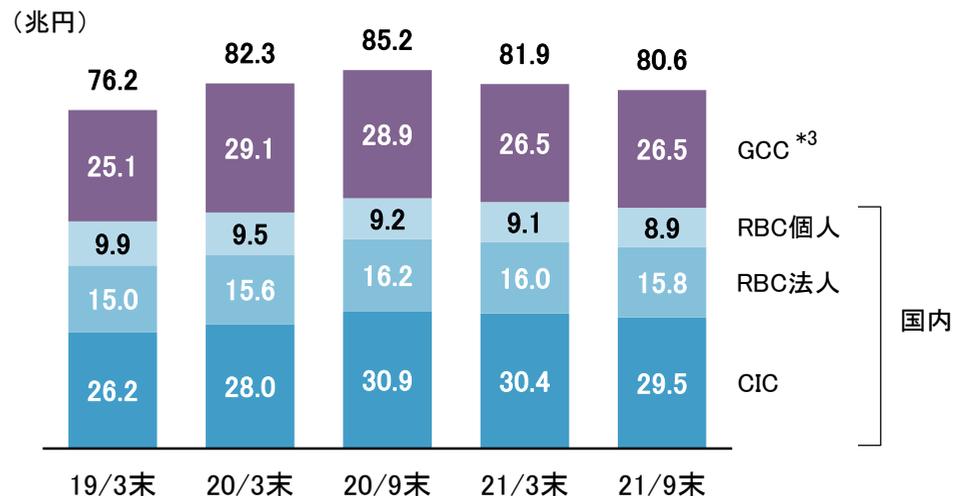
# B/Sの概要

## 貸借対照表(21年9月末) ( )内は21/3末比 連結

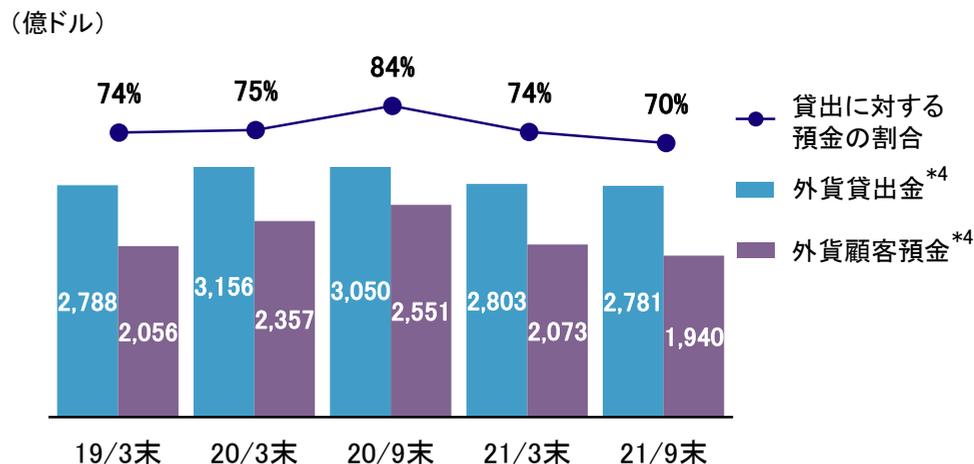
総資産 227兆円 (+1.6兆円)

<b>貸出金</b>	<b>預金・譲渡性預金</b>
82兆円 (△1.5兆円)	148兆円 (△1.9兆円)
<b>有価証券</b>	<b>その他</b>
43兆円 (+0.0兆円)	69兆円 (+3.3兆円)
日本国債 19.4兆円 (△1.9兆円) 外国債券 14.4兆円 (+1.5兆円) 日本株式 3.6兆円 (+0.0兆円)	<b>純資産</b>
<b>その他</b>	9兆円 (+0.2兆円)
101兆円 (+3.0兆円)	

## 貸出金の内訳(末残) \*1 \*2 BK+TB、管理会計



## 外貨預貸構造(末残) \*2 \*3 BK、管理会計

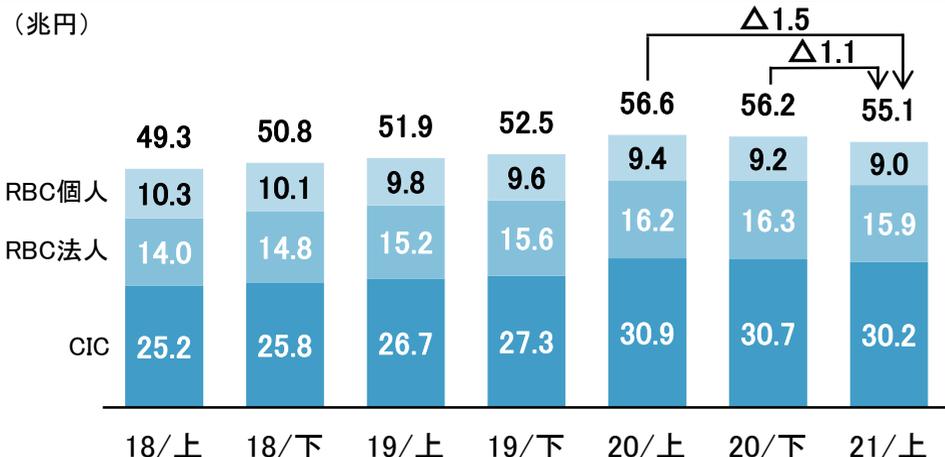


\*1: グループ内貸出金を除く、国内は政府等向け貸出金を除く \*2: 21年度管理会計ルール(19/3末~21/3末は遡及修正)

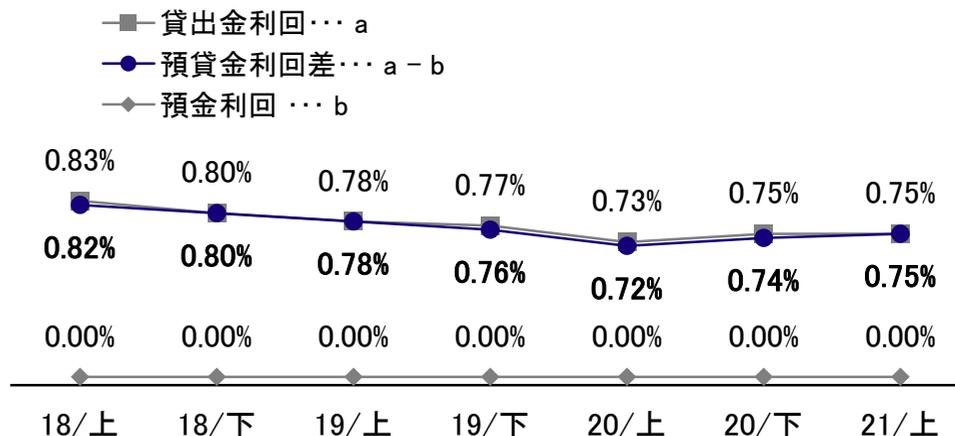
\*3: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人) \*4: 国内を含む

# 貸出金

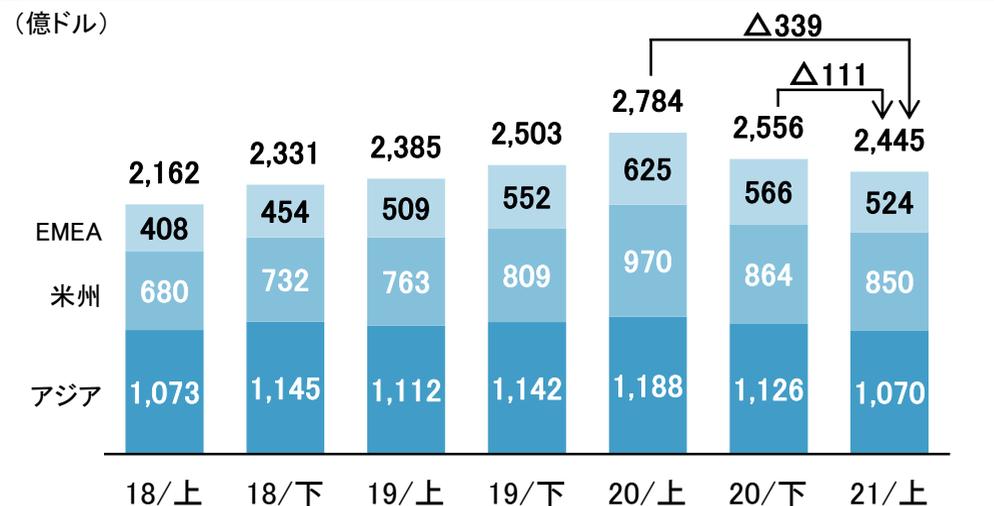
## 国内貸出金(平残)<sup>\*1</sup> BK+TB、管理会計



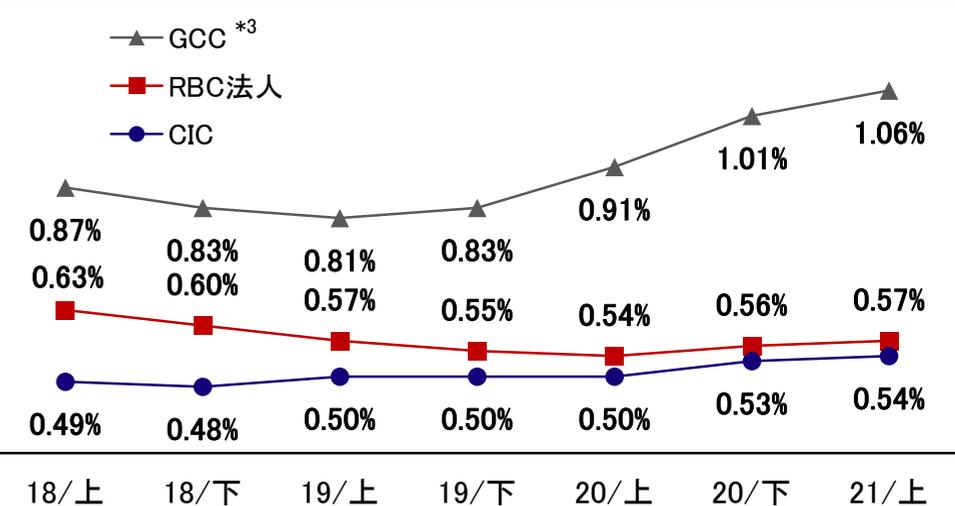
## 国内預貸金利回差<sup>\*2</sup> 2行合算



## 海外貸出金(平残)<sup>\*1 \*3</sup> BK、管理会計



## 貸出金スプレッド<sup>\*1</sup> BK+TB、管理会計



\*1: 21年度管理会計ルール(18/上~20/下は遡及修正)、グループ内貸出金を除く、国内は政府等向け貸出金を除く \*2: 金融機関(FGを含む)・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

\*3: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人)

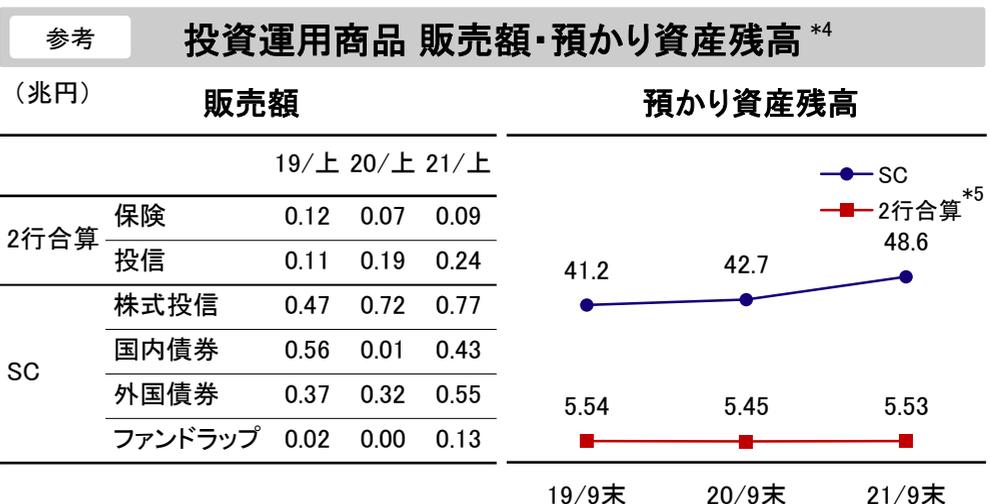
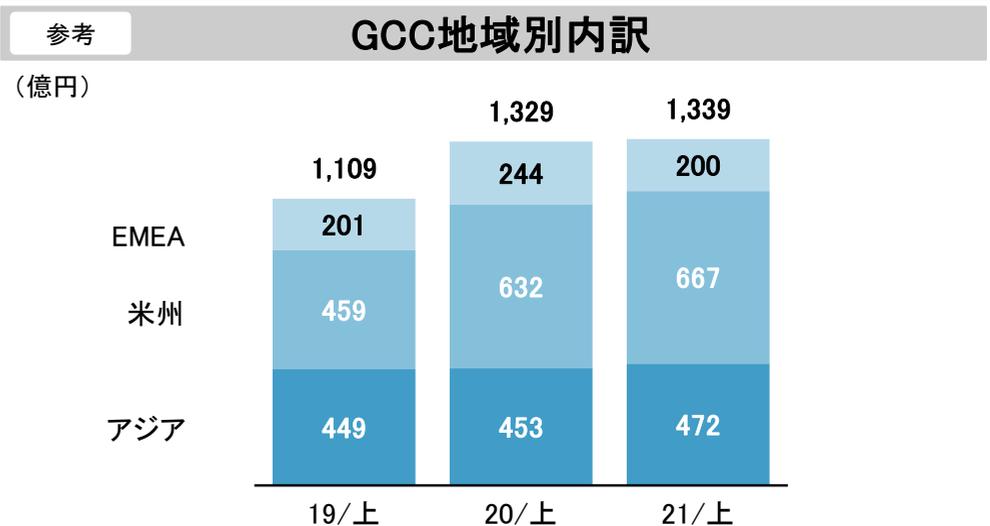
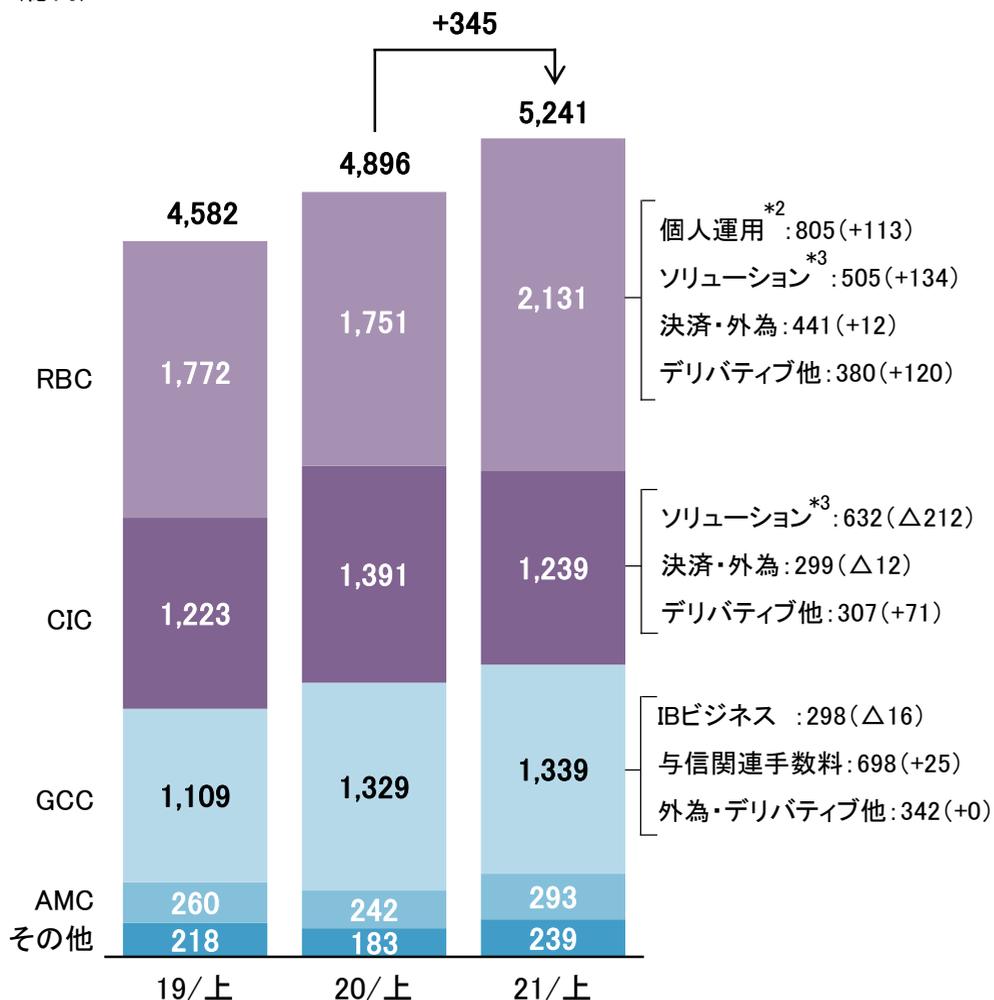
# 非金利収支

## 非金利収支(顧客部門)<sup>\*1</sup>

グループ合算、管理会計

( )内は前年同期比

(億円)



\*1: 21年度計画レートの適用、管理対象範囲の拡大・精緻化により、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、19/上：4,560億円、20/上：4,880億円 \*2: BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント  
 \*3: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む \*4: SCはリテール事業法人部門 \*5: 保険、投資信託(除くMMF)、外貨預金の合計値

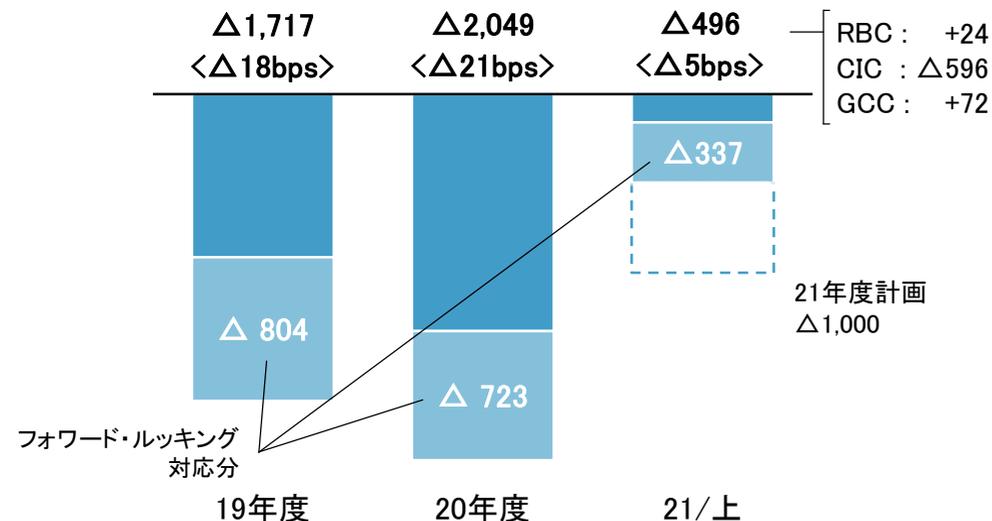
# クレジットポートフォリオ

## 与信関係費用

連結

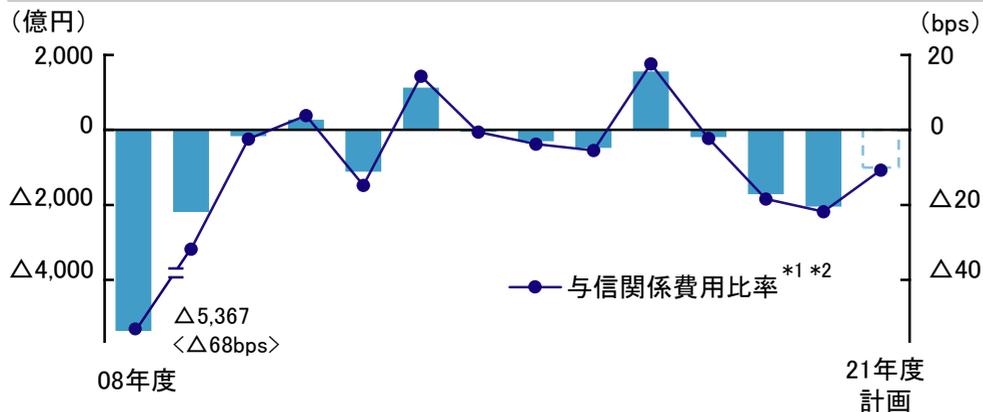
(億円)

< >内は与信関係費用比率\*1



参考

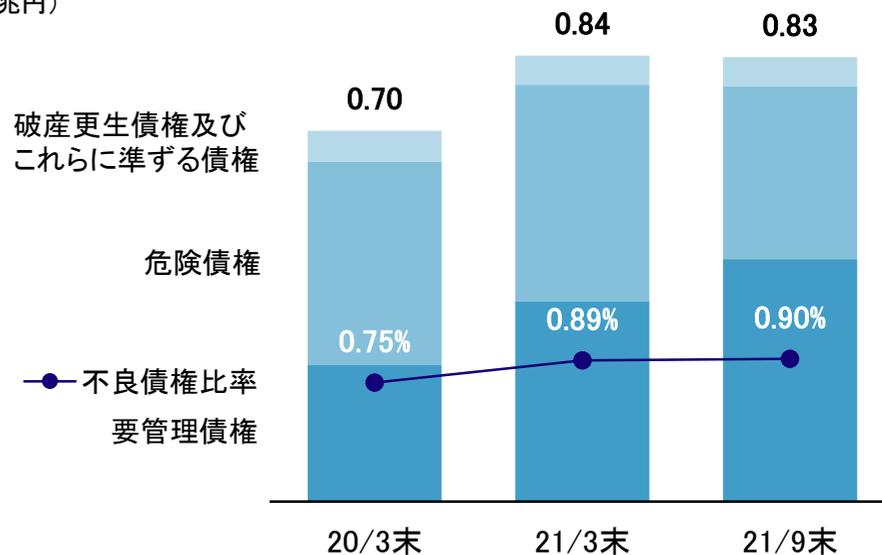
### 過年度推移



## 金融再生法開示債権<sup>\*3</sup>

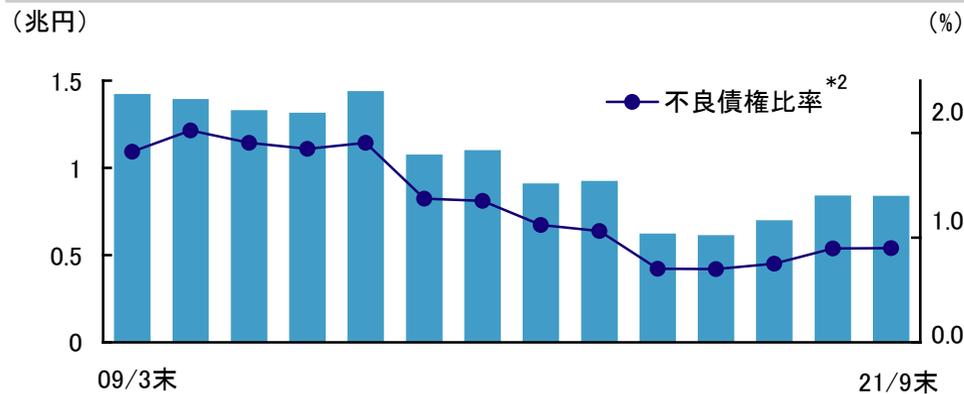
連結

(兆円)



参考

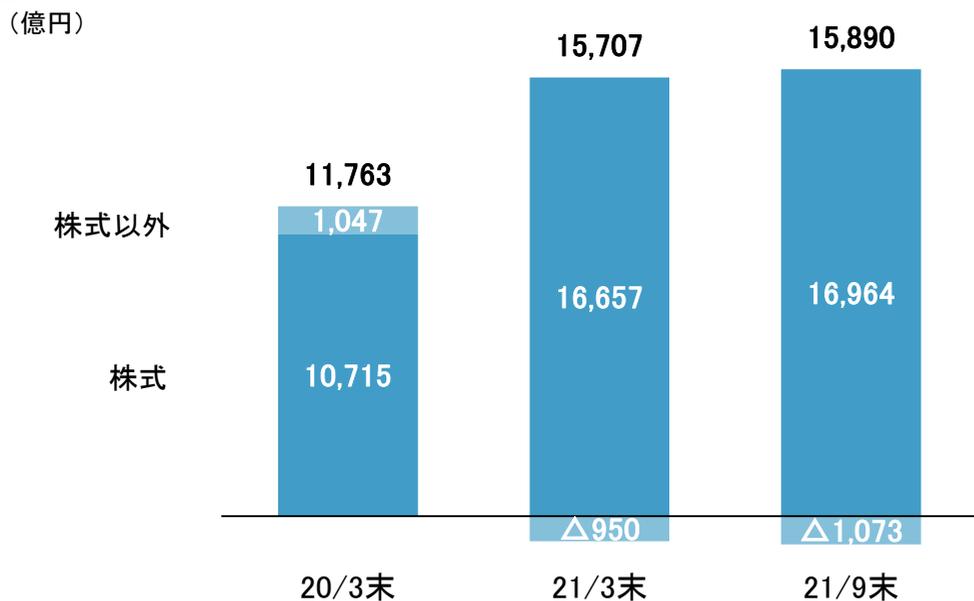
### 過年度推移



\*1: 与信関係費用 / 期末総与信残高(信託勘定を含む) \*2: 13年度以前は銀行単体合算の期末総与信残高を使用して算出 \*3: 信託勘定を含む

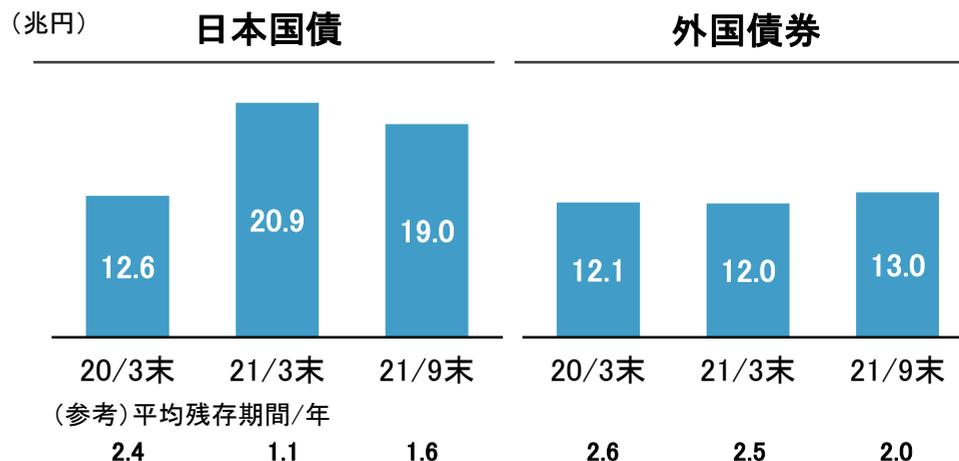
# 有価証券ポートフォリオ

## その他有価証券評価差額 <sup>\*1 \*2</sup> 連結

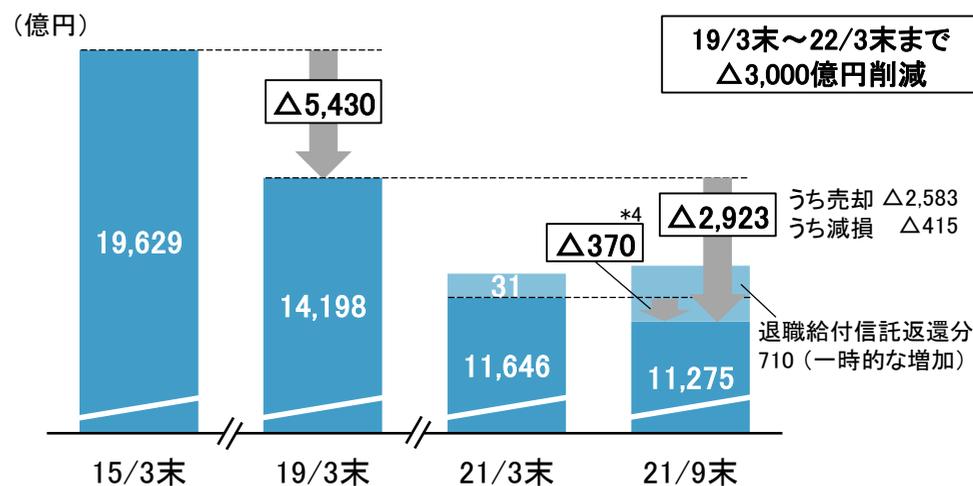


	20/3末	21/3末	21/9末
株式	10,715	16,657	16,964
株式以外	1,047	△950	△1,073
債券	△541	△449	△351
うち国債	△440	△317	△243
外国債券	2,009	△330	△477
その他	△420	△170	△245
ベアファンド <sup>*3</sup>	862	△1,554	△1,281
投資信託等	△1,282	1,384	1,035

## 債券残高 <sup>\*2</sup> 2行合算、取得原価



## 株式残高 <sup>\*2</sup> 連結、取得原価



\*1: 純資産直入処理対象分、組合出資分を除く。21/3末・21/9末: 期末日の時価に基づいて算定。20/3末: 株式は期末月1ヵ月の月中平均、それ以外は期末日の時価に基づいて算定

\*2: その他有価証券で時価のあるもの \*3: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分 \*4: うち売却△389億円、減損△5億円

# 自己資本

(連結、億円)	21/3末	21/9末
普通株式等Tier1資本	78,499	82,435
その他Tier1資本	18,519	18,548
Tier2資本	16,834	18,286
総自己資本	113,853	119,270
リスク・アセット	674,819	671,477
総エクスポージャー*1	2,005,466	2,035,915

## 【自己資本比率】

普通株式等Tier1比率	11.63%	12.27%
同(その他有価証券評価差額金を除く)	10.46%	10.95%
Tier1比率	14.37%	15.03%
総自己資本比率	16.87%	17.76%

## 【その他規制諸比率】

レバレッジ比率*2	4.83%	4.96%
リスク・アセットベース外部TLAC比率	21.42%	22.87%
総エクスポージャーベース外部TLAC比率*2	8.39%	8.70%

\*1: 総エクスポージャーの額から日本銀行に対する預け金の額を除外

\*2: 日本銀行に対する預け金の額を算入した場合のレバレッジ比率は、21/3末:4.03%、21/9末:4.17%、  
総エクスポージャーベース外部TLAC比率は、21/3末:6.99%、21/9末:7.32%

## 自己資本比率

- 親会社株主純利益の計上を主因に、普通株式等Tier1比率は上昇

## その他規制諸比率

- レバレッジ比率、TLAC比率ともに、規制水準対比十分な水準を確保

## <参考>バーゼルⅢ・新規制・完全適用ベース

	21/3末	21/9末
普通株式等Tier1比率	10.0%	10.6%
同(その他有価証券評価差額金を除く)	9.1%	9.6%

# 2021年度修正計画

## 修正計画および配当

連結 (億円)	2020年度		2021年度	
	実績	上期実績	修正計画	当初計画比
連結業務純益 + ETF関係損益等	7,997	4,603	8,200	+300
与信関係費用	△2,049	△496	△1,000	±0
株式等関係損益 - ETF関係損益等	100	△68	△100	△600
経常利益	5,363	3,993	6,900	△300
親会社株主純利益	4,710	3,856	5,300	+200

2行合算 (億円)	2020年度		2021年度	
	実績	上期実績	修正計画	当初計画比
実質業務純益 + ETF関係損益	5,789	3,244	5,800	△100
与信関係費用	△2,015	△493	△900	±0
株式等関係損益 - ETF関係損益	△110	△121	△150	△650
経常利益	3,219	2,638	4,750	△650
当期純利益	3,117	1,878	2,800	△950

### ■ 親会社株主純利益を5,300億円に上方修正

- ・ 連結業務純益 + ETF関係損益等：  
顧客部門を中心に堅調に推移していることを踏まえ、上方修正
- ・ 株式等関係損益 - ETF関係損益等：  
資本の積み上がりを踏まえ、ベアフアンドの解約を進めていくことから、下方修正

### ■ 中間配当金は40円

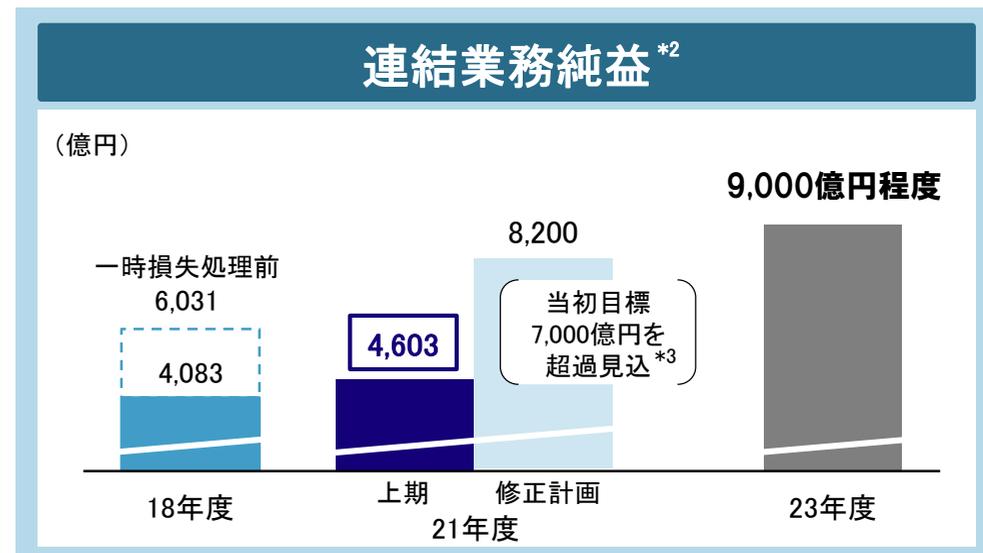
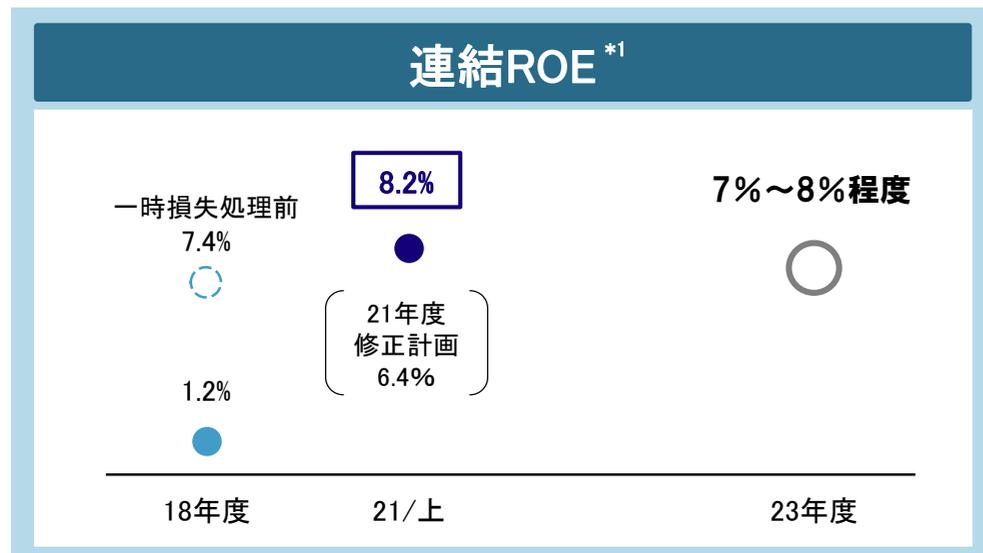
年間配当金予想を80円に上方修正

一株あたり配当金	2021年度	
	実績	当初予想比
中間配当金	40円00銭	+2円50銭
期末配当金(予想)	40円00銭	+2円50銭
年間配当金(予想)	80円00銭	+5円00銭

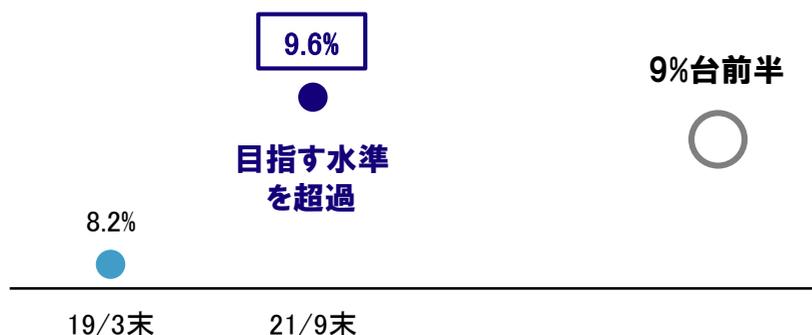
【前提となる金融指標】 日本国債10年利回り: 0.08%、日経平均株価: 29,000円、ドル円: 111円

# (参考)5カ年経営計画の進捗

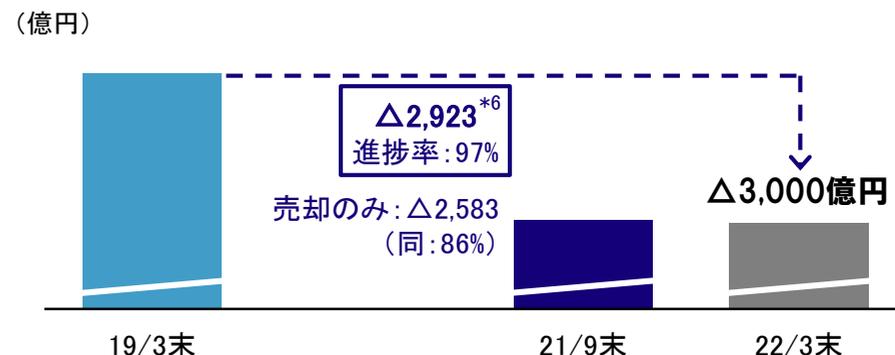
## 財務目標



### 普通株式等Tier1 (CET1)比率の目指す水準 <sup>\*4</sup>



### 政策保有株式削減の取組み <sup>\*5</sup>



(23年度目標の前提となる金融指標) 日本国債10年利回り: 0.15%、日経平均株価: 22,100円、ドル円: 101円

\*1: 当期純利益 ÷ (株主資本+その他の包括利益累計額(その他有価証券評価差額金を除く))。21/上の分子の算出方法: (中間純利益-税効果による特殊要因) × 2 + 税効果による特殊要因

\*2: 連結業務純益+ETF関係損益等 \*3: 5カ年経営計画における21年度目標 \*4: パーゼルⅢ・新規制・完全適用ベース、その他有価証券評価差額金を除く \*5: 取得原価 \*6: 退職給付信託返還による一時的な増加分を除いたベース

# (参考) 抜本的構造改革の進捗

(概数)

21年度見込  
(累計)

23年度

24年度

...

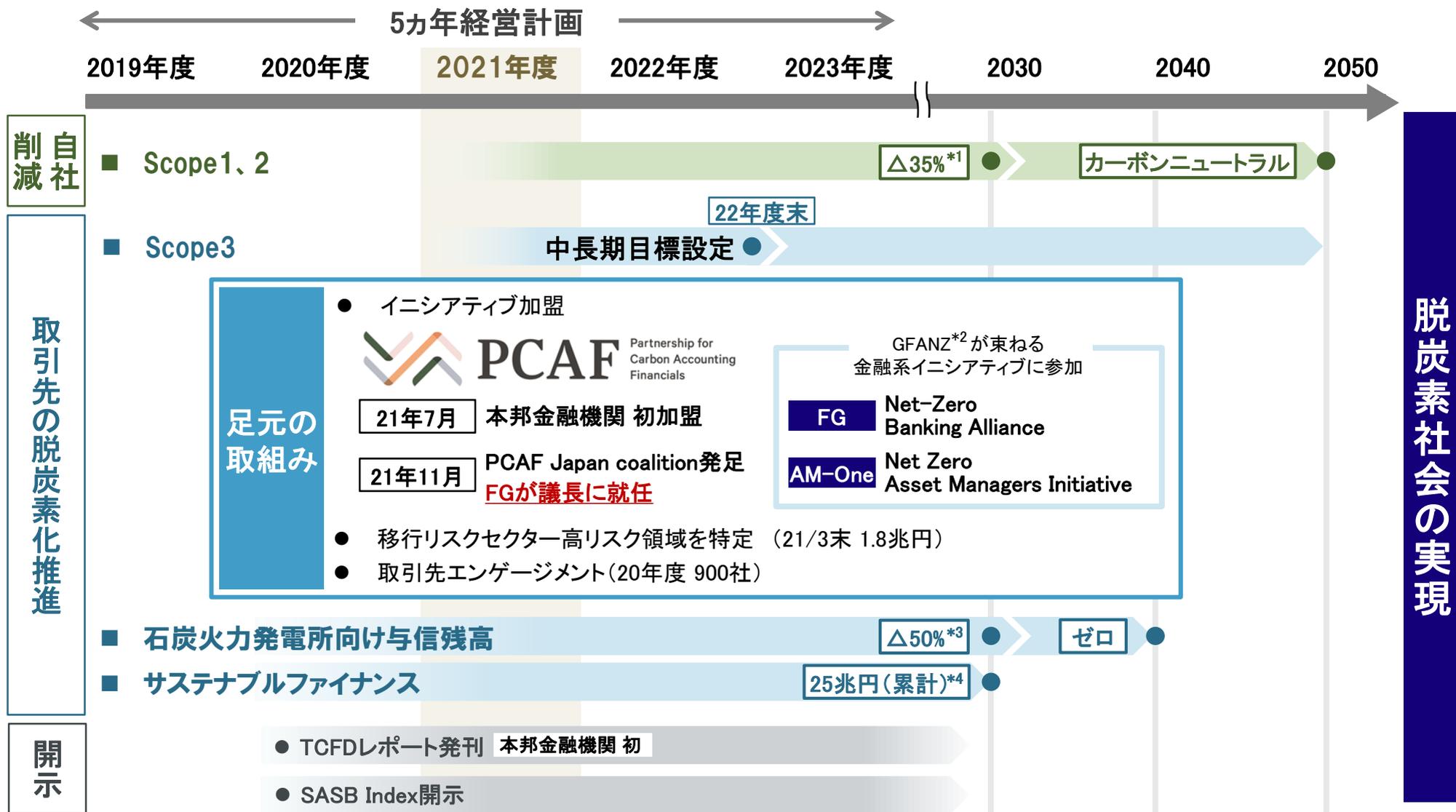
26年度

23年度以降は5ヵ年経営計画の公表値



\*1: 新勘定系システム関連償却費を除く削減額 \*2: グループ合算。19年度より管理会計ルールを変更、変更前は1.45兆円 \*3: 抜本的構造改革公表時点(17年11月)における17年度見込対比 \*4: 為替影響を除く

# (参考) 2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ



\*1: 19年度比の削減目標。なお、13年度比では $\Delta 49\%$ に相当 \*2: Glasgow Financial Alliance for Net Zero: 2050年ネットゼロへの移行を加速させることを目的に発足した組織。当社は未加盟 \*3: 19年度末比の削減目標 \*4: 19年度からの累計